

顎関節MRIの読影に関する確かな道標！

顎関節MRI

——臨床医のための読影参考書——

矢野圭介 (東京都 田園調布ヴェルデ矯正歯科)

著 高岡亮太 (大阪大学大学院歯学研究科 再生歯科補綴学講座)

音成実佳 (東京歯科大学 歯科放射線学講座)

- MRIは軟組織である関節円板を捉えることができるため、顎関節疾患の診断に欠かせない存在となっています。近年は大学病院や総合病院以外にも画像診断センターが増え、撮像を依頼できる環境になりました。
- 歯科医療においてMRIは身近になってきたものの、MRIの読影は難しく、学習には時間と経験を要し、役立つ参考書が少ない状況であるため、顎関節MRIの読影に特化した、実践的に解説する参考書を刊行することとしました。
- 歯科放射線専門医、補綴専門医、矯正専門医が執筆し、画像診断学的視点、咬合・補綴的視点、成長発育や矯正学的視点を交差させることで、単なる読影マニュアルではない、多角的で臨床に直結する内容となっています。
- 本書を顎関節MRIの確かな読影の道標として、診断にお役立てください。

A4変判・108頁・
定価9,900円(税込)



顎関節MRIの読影に関する確かな道標！

顎関節MRI

——臨床医のための読影参考書——

掲載目次

はじめに 今なぜMRIが必要なのか

1. MRIと他の画像検査の比較
2. 知っておきたいMRIの基礎知識
3. 顎関節のMRIにおけるアーチファクト
4. 顎関節のMR正常解剖
5. 関節円板転位 ①円板の位置異常について
6. 関節円板転位 ②円板の動態異常について
7. 下顎頭の骨変化，骨髄変化およびその他の異常
8. Joint effusion
9. 顎関節部の骨折および滑膜軟骨腫症
10. Double contour像およびdouble contour like structure像
11. 偽円板
12. MR 画像読影のpitfalls（落とし穴）
13. MR検査の依頼方法
14. 実際の症例を見てみよう

A4変判・108頁・定価9,900円（税込）